

直江津港を知ろう！①

— 直江津港と佐渡・小木港を結ぶ佐渡航路 —

●航路の歴史

直江津港は佐渡島的小木港と国道350号（海上国道）で結ばれており、航路は120年を超える歴史を有します。昭和63年に、当時の小木町と友好港湾都市を提携し、これまで相互交流を行ってきました。

●佐渡の魅力は？

世界文化遺産登録の推薦が決まった「佐渡島の金山」をはじめとする歴史的な遺跡や建造物、北前船で栄えた古い街並みが残る宿根木、海風を感じられるテラス席で楽しむカフェや、スキューバダイビングなどの大自然を味わえるアクティビティがあります！



佐渡金山「道遊の割戸」



まんじょうじき 万畳敷 #よるでウユニ塩湖！

●今年も佐渡へ出掛けよう！

4月29日（金）・（祝）から、両港を結ぶジェットfoilが運航します。

1日2往復ありますので、日帰り旅行も楽しめます。

佐渡汽船では、乗船と宿泊がセットのお得なプランを用意しています。

▶佐渡への旅行に関する問合せ

佐渡汽船直江津総合案内所（☎025-544-1234）

▶記事に関する問合せ

産業立地課（☎025-520-5737）



佐渡汽船 ホームページ



みすず 牧区 松本 美鈴 推進員

中山間地域の暮らしを守り、活力の維持・向上を図るため、さまざまな支援を行う「集落づくり推進員」。今回は牧区の松本推進員を紹介いたします。

—どんな活動をされていますか？—
区内304世帯に「屋号看板」を取り付ける事業に5年間取り組んだほか、2000球の彼岸花を集落全員で植栽したり、くん炭アートを描いたりしました。

集落の将来に不安を感じていた住民が、一つのことを協力して成し遂げたことの喜びや自信につながる活動となりました。

—活動の中で感じていることは？—
「個別訪問」を大事にしています。現在は28集落を担当しており、きめ細やかな訪問は難しくなりましたが、久しぶりに訪問したお宅で「来るのを待ってたよ！」と言

—今後の目標を教えてください—
中山間地域は、私たちの生活に重要な役割を果たしています。中山間地域で暮らす皆さんが、これからも元気でこの地を守り、安心して暮らし続けることができるよう、身近な相談窓口になればと思っています。

われらときは、推進員になって良かったと感じました。

集落の高齢化が進み、普段顔を合わせる機会が少なくなっても、神社の清掃や祭事は続けています。この地に残り、畑を守りながら、訪問時にはいつも笑顔で迎えてくださる地域の皆さんには、励まされるとともに元気をもらっています。

住民同士で支え合って生きよう！というメッセージとともに描いた「くん炭アート」



市ホームページ

集落づくり推進員通信

5